

全 国的に公共施設の老朽化が問題と なっています。少子高齢化の進行や 地方交付税の縮減、施設需要の変化などに 伴い、現状の施設規模を維持しながら老朽化対 策を行うことが難しくなっています。

市は持続可能な公共施設の適正化を図るた め、平成29年3月に菊池市公共施設等総合管 理計画（以下「総合管理計画」）を策定。他 の自治体と比較しても過大な傾向にあった保 有総量（総延床面積）の削減と、今後も維持 していく施設については、計画的な修繕や改 修、更新による老朽化対策を実施するなど、 公共施設マネジメントに取り組んでいます。

Q 菊池市は他の自治体より 公共施設が多いの？

A 平成27年3月末時点では 施設の総延床面積が、市民 一人当たり8.58㎡で、全国 の人口が同規模の42都市 と比較して2番目に大きい 数字でした。



1 これまでの取り組み

総合管理計画の基本方針（表①）を踏まえ、 個別施設の方針（表②）を定める「個別施設 計画」の策定を進めながら、民営化に伴う施 設の譲渡、賃貸施設や学校跡地の譲渡、当初 の役割を終えた施設の解体などを実施し、保 有総量の削減を進めてきました。支所や学校、 公営住宅などは、改修や建て替えなどの整備 を行い、機能維持と利用者の安全確保に努め ています。

個別施設計画は、市が施設ごとの現状と課 題を整理しながら施設方針を定めたもので す。利用者や関係者、市民へ情報を発信し、 今後、計画の合意形成を図る必要があります。



【泗水支所】旧庁舎を活用し整備。西側に「こども健診センター」を開所



【旭志支所】同敷地内に新庁舎を縮小し建て替え。旧庁舎は解体

【表①】総合管理計画の基本方針

基本的な考え方	取り組み方針
1 公共施設などの保有総量を最適な規模とする	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の新設は原則として行わない ●公共施設の統合、複合化を進め、保有総量を削減する ●用途を廃止した公共施設は速やかに削減する ●財政状況に応じたインフラ施設の整備
2 公共施設などの機能維持と安全を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ●計画的な維持管理・修繕・更新を行う ●定期的な点検・診断を実施する ●危険箇所に対しては速やかに対応し安全を確保する ●速やかに耐震化を図る ●長寿命化により、更新費用の平準化を図る ●ユニバーサルデザイン化を推進する
3 効率的な施設運営に努む	<ul style="list-style-type: none"> ●稼働率の向上を図る ●日常の運営にかかるコストを改善する ●民間活力の導入を進める

【表②】個別施設の方針

方針	内容
①廃止	当該施設を廃止。施設は解体や売却などの処分を検討
②民間移管	民間企業、団体などへ施設の譲渡、払い下げを検討
③地域移管	自治会などへ施設の譲渡、払い下げを検討
④統合	同分類施設との統合（集約化）を検討
⑤複合化	他分類施設との複合化（集約化）を検討
⑥縮小建替え	建替えの際は規模を縮小して建替
⑦同規模建替え	建替えの際は現在の施設規模を維持

※個別施設計画では、インフラ施設を除く公共施設の一つ一つに、表②の7つの施設方針を定めています
 ※市民の生活基盤であり災害時の重要なライフラインとなる、道路、橋梁、上水道、下水道のインフラ施設は、総合管理計画において施設の長寿命化を方針と定めており、計画的な修繕や改修、更新に努めています

2 個別施設計画第1期の目標値

令和2年度から令和8年度までの7年間を「第1期」として個別施設計画を推進しています。第1期では、令和2年3月末時点の総延床面積約33万㎡を令和9年3月末までに約25万㎡に削減することを目標としています。（総合管理計画の基準値から累計約40%削減）

この目標に向けて、2館ある市民会館の規模の見直しや地域主体で利用している菊池市公民館支館の管理の見直しの他、当初の役割を終えた施設の解体、譲渡などを計画しています。

保有総量の削減だけではなく、公共施設の機能維持と安全確保のための施設整備や、効率的な施設運営に向けた稼働率の向上やコスト削減などにも取り組めます。

3 情報発信と合意形成

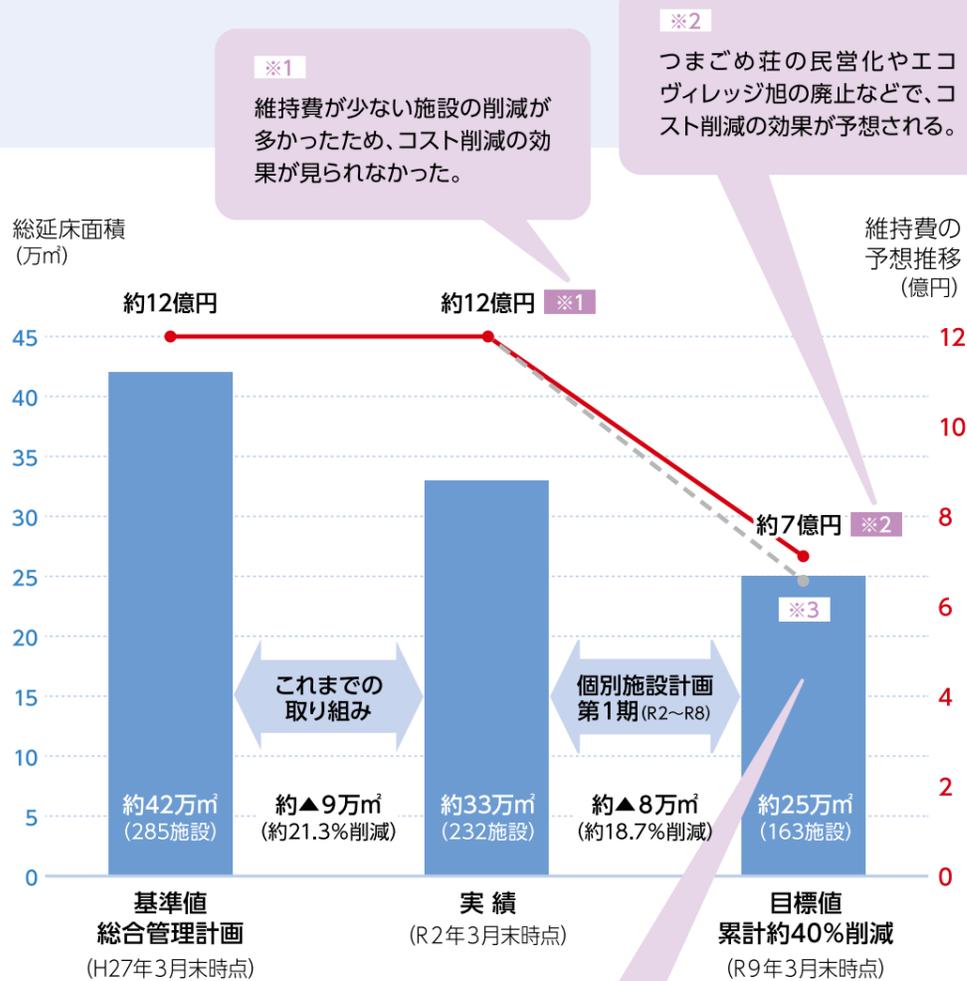
個別施設計画の推進には、利用者や関係者、市民への丁寧な説明が必要です。第1期計画で推進している市民会館や公民館支館については、令和2年度に「市民会館あり方検討委員会」や「各支館の運営委員会」で検討を進めてきました。

本年度は市民や利用者に対し、利用状況や建物状況などの情報を発信しながら、アンケート調査を実施するなど、個別施設計画に対する合意形成を図ります。

【問い合わせ先】

施設マネジメント課 ☎0968(25)72005

総延床面積の推移



※1 維持費が少ない施設の削減が多かったため、コスト削減の効果が見られなかった。

※2 つまごめ荘の民営化やエコヴィレッジ旭の廃止などで、コスト削減の効果が予想される。

※3 計画外においても、電気の調達方法見直しなど、日常のコスト削減に努め、さらなる縮減を図る。

■ 総延床面積
● 維持費※
※光熱水費や管理委託料など。改修や建て替えなどの費用は含みません